

奈良川源流域の植物 2017年2月



ホトケノザ 花の下の葉を仏像の蓮花座に見立ててホトケノザと言う。



ヒメオドリコソウ 葉は毛深くて葉脈がへこむ。



シヨカツサイ 淡紫色の十字架花を咲かせる。
ハナダイコン、ムラサキハナナともいう。



ツルグミ 枝は長くのび、長楕円形の液果が4月に赤熟する。



カントウタンポポ 総苞片が直立して花の基部をお椀状に支える。



ノボロギク 葉は羽状に裂け、筒状花を主とする頭花が咲く。



ナンテン 寒さで葉が赤くなるが、春になるとまた緑になる。



ギシギシ 根生葉がロゼット状に展開し、寒さで赤くなる。